

# 「電機・電子業界 カーボンニュートラル行動計画」フェーズII進捗および改定版長期ビジョン発行の報告

電機・電子温暖化対策連絡会では、「電機・電子業界カーボンニュートラル行動計画」フェーズIIの初年度にあたる2021年度実績のフォローアップ調査結果を取りまとめました。また、カーボンニュートラルの実現に向けた国内外の社会的な動向をふまえ、2020年に策定した電機・電子業界「気候変動対応長期ビジョン」の改定を行いました。

世界各国でカーボンニュートラル(以下、CN)を目指す野心的な目標設定や取り組みの動きが進展し、日本政府も2050年のCN、さらに2030年温室効果ガス削減目標(2013年度比46%削減)を掲げています。

産業界では、経団連が中心となり「カーボンニュートラル行動計画」(以下、「CN行動計画」)が推進されており、電機・電子温暖化対策連絡会でも「電機・電子業界カーボンニュートラル行動計画」(以下、「電機・電子業界CN行動計画」)を策定し、2030年に向けたフェーズII重点取り組みを推進しています。また、2050年CNに向けた取り組みとして、今般、2020年に策定した長期ビジョンをリニューアルしたところです。

当業界では、これからも2030年、2050年の目標達成に着実に取り組み、グローバル規模でCNの実現を目指してまいります。

## 「電機・電子業界 カーボンニュートラル行動計画」フェーズII重点取り組みと進捗

### (1) 生産プロセスのエネルギー効率改善(コミット目標)

- エネルギー原単位改善率<sup>※1</sup>年平均1%以上の達成

#### 目標達成基準

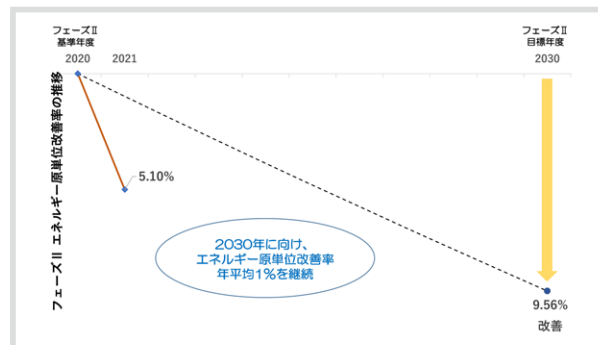
フェーズII(2030年度):

基準年度(2020年度)比で9.56%以上改善

#### 2021年度実績

基準年度(2020年度)比で5.10%改善

#### 【フェーズII エネルギー原単位改善率の推移】



### (2) 国内企業活動におけるCO<sub>2</sub>排出量削減(チャレンジ目標)

#### 目標達成基準

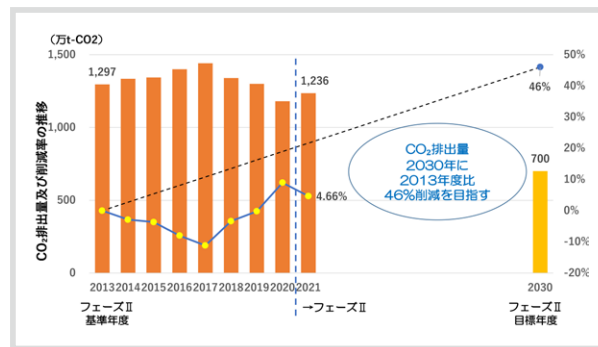
フェーズII(2030年度):

基準年度(2013年度)比で46%程度の削減

#### 2021年度実績

基準年度(2013年度)比で4.66%削減

#### 【フェーズII CO<sub>2</sub>排出量および削減率の推移】



### (3) 製品・サービス等による排出抑制貢献

- 国内外における排出抑制貢献量の算定・実績公表を推進<sup>※2</sup>

#### 2021年度実績

#### 【国内および海外市場における製品・サービスによるCO<sub>2</sub>排出抑制貢献量】

●国内市場におけるCO <sub>2</sub> 排出抑制貢献量(万t-CO <sub>2</sub> )				●海外市場におけるCO <sub>2</sub> 排出抑制貢献量(万t-CO <sub>2</sub> )			
対象製品カテゴリー	2021年度(1年間)の新設、出荷製品等による貢献量	2021年度(1年間)の新設、出荷製品等(使用)年数における貢献量	2021年度(1年間)の新設、出荷製品等(使用)年数における貢献量	対象製品カテゴリー	2021年度(1年間)の新設、出荷製品等による貢献量	2021年度(1年間)の新設、出荷製品等(使用)年数における貢献量	2021年度(1年間)の新設、出荷製品等(使用)年数における貢献量
発電(高効率ガス火力、風力)	135	4,027 (569)		発電(高効率ガス火力、風力)	69	2,054 (258)	
家電製品(テレビ、冷蔵庫、洗濯機、空調機等)	103	1,196 (202)		家電製品(TVの取組のみ)	58	581 (193)	
産業用機器	6	99 (8)		IT製品	635	3,174(1,195)	
IT製品	73	363(128)					

※1 同社5年以内、各カテゴリーの集計が合算しないことある  
※2 上記の表は、2021年度(1年間)の新設、出荷製品等による貢献量  
●ITソリューション: 10万t-CO<sub>2</sub>

## 電機・電子業界「気候変動対応長期ビジョン」の改定

電機・電子業界では、日本政府の2050年CN宣言に先駆け、気候変動対応に係る長期戦略として、2020年1月に電機・電子業界「気候変動対応長期ビジョン」を策定しました。



そして今般、電機・電子業界の「めざす姿」また「取り組むべき(挑戦する)活動」として、さらに業界の各社が長期の目標等を検討する際の「道標(みちしるべ)」として内容をリニューアルし、2022年11月に改定版を発行しました。改定版長期ビジョンでは、我々が関わるグローバルバリューチェーン全体を対象として、次の「基本方針」を定めています。

### 基本方針

電機・電子業界のバリューチェーン全体におけるGHG排出を、グローバル規模で2050年にカーボンニュートラルの実現をめざす。具体的には、以下の取り組みを実施していく。

- ① Scope1+2について、省エネ化および再エネ導入によって、排出量を最大限削減する
- ② Scope3について、バリューチェーンにおけるステークホルダーとの共創/協創と技術開発・イノベーションにより、可能な限り排出量の削減に努める
- ③ 炭素除去を含めたさまざまな手法を用いて、残った排出量の相殺に努める
- ④ 上記に加え、社会の各部門における脱炭素化に大きく貢献する

改定版長期ビジョン本体は、以下のページからご参照ください。

<https://www.denki-denshi.jp/vision.php>

## 政府審議会での評価

2022年12月、産業構造審議会地球環境小委員会電子・電機・産業機械等WGにおいて、「電機・電子業界 CN行動計画」フェーズIIの進捗、および改定版長期ビジョン発行の報告を行いました。

審議会各委員からは、改定版長期ビジョンに高い関心が寄せられるとともに、日本が主導するGHG削減貢献定量化の新たなIEC国際規格開発や、電機・電子業界がDXや技術開発によりCNをけん引していくことへの期待が示されました。

## 行動計画への参加のご案内

「電機・電子業界 CN行動計画」には現在85グループ293社が参加いただいています。

産業界全体で取り組む本行動計画への参加により、温暖化防止への貢献を社会に広くアピールでき、特に製品・サービスによる排出抑制貢献量の算出は、自社製品・サービスのアピールにもなります。

また、CN行動計画の進捗状況や政策動向の共有等を目的として、定期的に報告会を開催しています。ウェビナー形式の導入等により多くの企業にご参加いただける環境を整え、業界全体での底上げを図ってまいります。

是非、参加のご検討をお願いいたします。

### ■ 電機・電子温暖化対策連絡会 ポータルサイト

「電機・電子業界 CN行動計画」に関する情報(実施要領、参加申請、報告会資料等)は、こちらのサイトをご覧ください。

<https://www.denki-denshi.jp/>

お問い合わせ E-mail : [ondankataisaku@jeita.or.jp](mailto:ondankataisaku@jeita.or.jp)

※1 省エネルギー法に準拠した、活動量(生産高・個数・面積等)当たりのエネルギー使用量の改善を示す指標

※2 電機・電子業界「CN行動計画」で策定した方法論に基づき、参加企業の取り組みを集計・評価

<https://www.denki-denshi.jp/implementation.php>

・部品等(半導体、電子部品・集積回路)の排出抑制貢献量は、セット製品の内数として、産業連関表に基づく寄与率を考慮して評価

[https://www.denki-denshi.jp/down\\_pdf.php?f=pdf2014/Guidelines\\_for\\_device\\_contribution.pdf](https://www.denki-denshi.jp/down_pdf.php?f=pdf2014/Guidelines_for_device_contribution.pdf)

・JEITA電子部品部会では、「電子部品のGHG排出削減貢献量算定に関するガイダンス 第2版」を2022年7月に公開

<https://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=1286&ca=21>